



第6号

発行 福島県立ふたば未来学園高等学校
保護者と教師の会

所在地 〒979-0403
福島県双葉郡広野町大字下浅見川
字築地12

編集 PTA調査広報委員会

印刷 八幡印刷株式会社



平成二十九年十一月二十八日(火)に、新校舎建設予定地に起工式が行われました。平成三十一年に完成予定の新校舎は、併設される中学校のクラスも含まれた大規模なものとなります。平成三十一年度の四月から使われます。

新校舎には、地域の方々も利用できるカフェスペースを中心として、プレゼンテーションやグループワークに利用するアクティブ・ラーニング・スペース、バドミントンや野球の専用施設などが設けられます。完成が待ち遠しいですね。



FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI

校長挨拶

校長 丹野 純一

ふたば未来学園一期生の保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。開校してからの三年間を振り返れば、まさにゼロから出発し、解のない課題への挑戦の日々でした。たった二人からスタートした野球部はノーヒットノーランによる夏初勝利、やはり二人だけだった女子サッカー部は県優勝、男子サッカー部は県一部リーグ昇格、バドミントン部はインターハイ5冠という快挙を成し遂げ、JFAアカデミー福島の選手たちはハイレベルリーグ戦で健闘しました。楽器のないところから始まった吹奏楽部、東京公演で全国に大きな感動を与えた演劇部など、全ての部が自分たちの力で歴史の最初の一ページを開いたのです。さらに、三校舎合同の文化祭や体育祭、ドイツやアメリカでの研修、みんなで創り上げた演劇、数十に及ぶ地域再生のプロジェクトなど、本当に密度の濃い三年間だったと思います。

その中で、生徒の皆さんは、高い壁を前にして途方に暮れるときや挫折に涙したことも一度や二度ではないはずです。それを支えたのは、友であり、教職員であり、そして何より保護者の皆様からの愛情と厳しさであったと思います。子供には、無条件に降り注ぐ太陽の光と、立ち向かう風や雨のどちらが必要なのです。

子を育てるといふことは本当に大変なことです。事情はそれぞれ違い、大変さの種類や質に違いはあることも、ここまで育て上げられた保護者の皆様お一人お一人のこれまでの御苦労に心より敬意を表すとともに、PTAを立ち上げ、その活動の充実に多大なる御理解と御協力を頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。



猪苗代校舎 三年間の歩み

【平成二十七年年度】

平成二十七年四月九日、ふたば未来学園高校猪苗代校舎がスタートしました。新入生九名、富岡高校猪苗代サテライト二年生七名、三年生六名も合わせ、総勢二十二名での学校生活が始まりました。猪苗代高校の学校行事にも混ぜていただき、勉強にバドミントンに充実した毎日を過ごしました。

下の写真は、猪苗代高校の体育祭の時に撮影した集合写真です。お昼には、猪苗代高校 P T A スーパー特製豚汁を御馳走になりました。ありがとうございました。



△主な大会成績▽

○第四十四回全国高等学校選抜バドミントン大会

男子複第二位 (金子・久保田)

【平成二十八年度】

新入生八名、二年生九名、富岡高校猪苗代サテライト三年生七名、総勢二十四名で学校生活を送りました。平成二十八年度は、本校舎で行われた双来祭と猪苗代高校の磐梯山登山に参加しました。右下の写真は、磐梯山登山の山頂で撮影した集合写真です。磐梯山は標高一八一六メートル。とても険しく、苦しい山道ばかりでしたが、みんなで協力して登り切りました。頂上に着いた時の達成感と山頂から見た景色、そして翌日全員が筋肉痛に

なつたことは、忘れられない思い出となりました。

△主な大会成績▽

○第六十七回全国高等学校バドミントン選手権大会

男子団体優勝

男子複第三位 (金子・久保田)

男子単第三位 (金子)

女子団体優勝

女子単第二位 (高橋)

○第三十五回全日本ジュニアバドミントン選手権大会

男子複優勝 (金子・久保田) 第二位 (山田・筑後)

男子単第三位 (金子) 女子複優勝 (永井・水井)

女子単優勝 (高橋) 第三位 (水井)

○第四十五回全国高等学校選抜バドミントン大会

男子団体優勝 男子複優勝 (金子・久保田)

男子単第二位 (金子) 女子団体優勝

女子複第三位 (高橋・由良)

【平成二十九年度】

新入生九名、二年生八名、三年生九名、総勢二十六名、三年が全てそろいました。ふたば未来学園単独チームでの活動の始まりです。

平成二十九年度は、猪苗代高校の若鷹祭に参加し、模擬店 (おしるこフルーツポン) とシャトルの当てと展示を行いました。前日までの準備、本番当日、片付けと、一致団結して全員で参加することができたので、とても良い思い出になりました。

右下の写真は、若鷹祭の後に撮影した集合写真です。一年間を通して全員がそろって



とがほとんどないので、貴重なワンショットです。

猪苗代校舎での高校生活がいかに充実していたかは、左の生徒のコメントに表れていると思います。ぜひ御一読ください。

△主な大会成績▽

○第六十八回全国高等学校バドミントン選手権大会 (史上初の五冠 高橋明吾三冠)

男子団体優勝 男子複優勝 (金子・久保田)

第二位 (山田・筑後)

男子単第三位 (金子)

女子団体優勝 (女子) 複優勝 (高橋・由良)

女子単優勝 (高橋) 第三位 (水井)

○第三十六回全日本ジュニアバドミントン選手権大会

女子複第二位 (水井・内山) 女子単優勝 (水井)



猪苗代校舎での三年 3B07 永井 潮男

猪苗代校舎で送った高校生活の三年間はとても遠く、とても充実した日々ばかりで、今思い返すとあんなに時間が過ぎていったように思います。

練習で辛い時は、みんなで声を掛け合いながら乗り越えました。学校の検定や休み時間は、みんなで笑って楽しく過ごすことができました。楽しい学校行事もたくさんありました。

充実した高校生活を送ることができたのは、周りの先生方や仲間にも恵まれていた証です。私と関わってくれた人たちと出会えたことにとっても感謝しています。たくさん思い出をありがとう。

【これから】

平成三十年三月一日には、ふたば未来学園の初めての卒業式が行われます。第一期生の卒業です。平成二十七年四月九日に始まった猪苗代校舎の歴史に、また一つ新たな足跡が刻まれます。

我々猪苗代校舎のメンバーは、休校となつてしまつた富岡高校バドミントン部の伝統を受け継ぐとともに、ふたば未来学園高校バドミントン部として新しい歴史を創つていきたいと思つています。

平成三十一年四月からは、広野町にできる新校舎での活動が予定されているので、猪苗代校舎での生活も残り一年ということになるのでしょうか。一年間という短い時間ですが、猪苗代高校の皆さん、平成三十年度もよろしくお願ひします。



三島長陵校舎 二年間の歩み

三島長陵校舎 一期生の歩み

三島長陵校舎 一期生は、得がたい経験をたくさんしました。まず福島での開校式・入学式に臨むため入学「前」に担任と会い、式の前日に担任と一緒に静岡を出発し、四倉に宿泊。開校式では、南郷副校長先生の笑顔に誘われて芸大生と踊り、著名な来賓の方を見つけては「フアンです」と言って握手。高校生活が始まると、部活動を午前中に行い、昼の十二時過ぎに登校して十三時から十九時まで授業。担当は福島、アカデミー、静岡と所属が異なる先生方で、「トイレでも理由に関わらず5分不在は欠課」という三島長陵ルールも堪能。

このように三島長陵校舎 一期生は、少々変

わった幕開けて高校生活を開始しました。しかしふたば未来の集い、双来祭、体育祭、修学旅行、そして球技大会や富士急ハイランドへの遠足に加え、「ふたば生もぜひ一緒に」との声で三島長陵高校の対面式や長陵祭にも一年次から参加し、充実した日々を過ごしました。そしてJFAアカデミーの先生方のご指導のもと、毎週土日は試合に臨み、休業中には海外遠征も経験しました。

何事にも興味津々でエネルギーに溢れ、自分なりに楽しさを見出し適応するA組一期生が、三島長陵校舎での道を切り開いてきました。早朝五時に静岡を出発して本校舎に行く日も、卒業式で最後を迎えます。一期生が開拓した道を、後輩たちが彩る番です!!

三島長陵校舎の歩み

3A03 今川暉一朗

私たち三島長陵校舎生は、一昨年も昨年も富岡高校と共に歩んできました。今年度からは全学年ふたば未来生になり、明るく元気に学習やサッカー、学校行事に取組んでいます。他の高校生に比べ学習時間は短いですが、集中して取組んでいます。またサッカーでは全員仲間ですが、ライバル意識を持ち、お互い高め合いながら練習しています。

平成27年度 一年目



調理実習



送る会 1A



遠足 1A



長陵祭 1A

平成28年度 二年目



対面式 2A



始業式 2A



遠足 1A 2A



三島サンパ 1A 2A



送る会 2A



女子報告会 1A 2A



遠足 1A 2A

平成29年度 三年目



対面式 2A



始業式 2A



体育祭 1A 2A 3A



応援団秋本真吾先生と 3A



応援団秋本真吾先生と 1A



遠足 1A 2A 3A



本校舎 二年間の歩み

開校式

ふたば未来学園高等学校は、平成 27 年に開校しました。4 月 8 日 (水) に、開校式および入学式が行われ、1 期生 152 名が入学しました。ここから、ふたば未来学園がスタートしたのです。



トッパアスリート系列(サッカー)
佐藤 莉

私が3年間を振り返って、特に思い出深いのは、サッカー部の活動です。スポーツⅡの授業や部活動の時間に、サッカー部のみんなと過ごした日々は、毎日がとても楽しく、充実していました。だから、辛い時でもみんなと協力し、助け合うことができました。

最も印象に残った試合は、福島県F2リーグ最終戦で会津工業に勝利し、F1昇格を決めた試合です。後輩へ良い置き土産を残せたことが、誇らしい試合でした。

このサッカー部と過ごした3年間はとても充実していて、私の中の一生の宝物です。

ふたば未来学園高校の1期生が卒業します。新しい学校に胸をふくらませた反面、開拓者としての苦労もあった3年間で振り返っていきたいと思います。どのような思い出がありますか。どのような苦勞がありましたか。その一つ一つを、もう一度思い出してみませんか。



福島ふたば未来学園高等学校

A MIRAI's history is this!

ふたば未来学園の軌跡がここに



体育館外観



図書室入り口



正面玄関



渡り廊下



食堂前



平成 29 年度は、3 期生 149 名が入学し、初めて 3 学年が揃いました。部活動最後の大会や就職活動、大学入試などの緊張感を初めて味わうこととなりました。また、初年度から続いていた探究の授業も、最終の発表会とレポート作成をもって修了した年度でした。

7 月に、3 校舎合同の体育祭が、2 日間に渡って行われました。3 年生にとっては、全ての校舎で行う学校行事として、思い出に残るものとなりました。

3 年生の部活動の最後の大会も迎えました。1 年目から各部を支えてきた 1 期生の最後の戦いは、深い感動を与えました。その後、新たなステージへと進むための進路活動へとシフトしていききました。

そして、3 月 1 日の卒業式をもって、1 期生はふたば未来学園を巣立ち、新たなステージへと歩みを進めていきます。

1 期生のみなさん、そして、保護者のみなさん、今日まで本当にありがとうございました。新しいステージでも、きっと輝いていくことでしょう。



3年目

未来へ

1年目



平成27年度は、まさに「はじまりの年」。新しくできた学校の伝統を、1期生が築きはじめた年でした。生徒たちが演劇制作・上演を通して、総合的な学びを深める「産業社会と人間」の授業も始まりました。

7月に海浜自然の家で「ふたば未来の集い」が行われました。スポーツ講座やワークショップ、キャンプファイアなどを通して、3校舎の生徒たちが寝食をともにしながら交流を深め、お互いの絆を感じた行事でした。

また、11月には未来創造ゼミ発表会としての「双来祭」が行われました。「祭り」「スポーツ」「ドラマ」「アート」の4つの力をテーマとして、発表や交流を行いました。

その他にも、ベラルーシやタイ・ドイツといった海外研修や、日々の授業や活動を通して、2年目へとつなげていきました。



アカデミック系列
安田 卓弘

私にとって3年間の高校生活は、あらゆる面で心を成長させてくれた貴重なものでした。寮生活を通して学んだ自立性、様々な人との関わりの中で学んだ協働性、難しい地域課題に触れ、自分なりの答えを模索した創造性。自立、協働、創造——。また、海外研修を通して、鳥の目と虫の目の両方を持つことの大切さもわかりました。この高校ならではの経験を次のステージでも活かし、大きく羽ばたきたいと思います。

2年目

平成28年度は、2期生136名が入学し、2学年次でのスペシャリスト系列専門科目の授業が始まった年でした。

7月に、本校舎では球技大会が行われました。ソフトボールやバスケットボールなどを通して、クラス間のつながりを強めました。

10月には、本校初の文化祭である「双来祭」が開催されました。3校舎合同で行われ、各クラスの企画やステージ発表に多くの人が訪れました。

その他にも、本校初の沖縄への修学旅行や、未来創造探究でのアメリカ研修などがありました。また、2学年となって学校がますますにぎやかになり、昨年以上の活気が生まれていました。



スペシャリスト系列(工業)
山田 瑞樹

思い返すと様々な体験をさせていただきました。その中でも印象的なものといえば、球技大会です。理由としては、クラス対抗戦であったために、クラスの回結力が向上したと考えられるからです。

また、スペシャリスト系列としての活動としては、工業の授業で自分の表札を作ったことが印象に残っています。世界で一つのものを作り上げるといふ工業の醍醐味に触れたことが印象深かったです。

最後に、後輩へのメッセージとして先輩から一つ言えることは、この高校でしか行えないことや見聞きできないことがたくさんあるので、それを大切にしてください。そして、あっという間の3年間だと思うので、しっかりと青春を謳歌してください。



東北高等学校 進学コンテスト
全国高等学校選抜予選会
会場



- 開催日時**
羽田空港 (3校舎の生徒たち自決)
→ 那覇空港へ
- 美ら海水族館
- 開催日時**
● 今帰仁城址
- 伊江島(民泊)
- 開催日時**
● ひめゆりの館・沖縄平和祈念堂
- 琉球通り (遊覧自主研修)
- 開催日時**
● 宜野湾
- 原宿空港
→ 羽田空港からそれぞれの帰路へ

修学旅行

in 沖縄

今年度も、学校創設以来之同百となる修学旅行に行ってきました。12月5日(火)から12月8日(金)の3泊4日の日程で、沖縄県に行きました。初日は、羽田空港で3校舎の生徒たちが自決し、飛行機で那覇空港へと向かいました。沖縄に到着した後、美ら海水族館を見学しました。その日の夜は今帰仁の水戸川に宿泊しました。2日目は、今帰仁城址を午前中に見たあと、フェリーで伊江島へと渡り、民泊を行いました。伊江島のいくつかの家庭に泊り、それぞれの家で釣りや焼酎を飲みました。3日目は、伊江島から本土へ戻り、ひめゆりの館や沖縄平和祈念堂を見学しました。夜には自由研修での川原研谷もありました。最終日は、首里城公園にて、守礼の門や正殿などを見学しました。その後、那覇空港から羽田空港へと戻り、それぞれの帰路に備えました。

1日目



美ら海(ちゅうらうみ)水族館
美ら海水族館は、ジンベエザメや、世界有数の大きさの水槽「黒潮の海」など、迫力のある展示が魅力です。生徒たちはここで、個性つつも楽しみな見学をしました。

2日目



今帰仁城(なきにらじょう・なきじんぐすく) 2000年、ユネスコの世界遺産に登録された北山王の城。石垣が美しいほか、毎のも所としても知られます。ガイドさんの案内のもと、その歴史を学び、景色を楽しみました。



3日目



ひめゆりの館・沖縄平和祈念堂 ひめゆりの館は、「ひめゆり学徒隊」をはじめとして戦死者を弔うために、昭和21年に建立された塔です。生徒たちは、塔の見学ののち、沖縄平和祈念堂で語り部の方から当時のお話を聞き、その後平和への祈りを込めて千羽鶴を奉納しました。

4日目



琉球館 琉球王国の中心の城(グスク)。沖縄語などで当時の城の多くは壊されましたが、1980年代から再建されました。中国の影響を大きく受け、赤い壁は漆が使われています。生徒たちはガイドさんの説明を受けた後、ここに建る歴史や文化に触れながら、散策・見学をしました。

修学旅行で思い出に残ったことを生徒たちにもちょっと聞いてみました。

- 伊江島 (民泊)**
 - 舟にシメツをあげられたのが楽しかった。(Y・Kくん)
 - 以前にも伊江島に行ったことがあるが、その時に食べた人たちと寺島再遊できたのがうれしかった。(R・Yくん)
 - 釣りをはじめたのが、焼酎などの
- 美ら海水族館**
 - 英語が面白かった。(T・Uくん)
 - 伊江島の伝統に触れることができた。あと、電卓アンプとサーターアンダギーがおいしかった。
 - 釣りやドライブの記憶が強い。
- 今帰仁城**
 - 貝やキーホルダーを作ったのが楽しかった。(M・Sさん)
 - 伝統舞踊が楽しかった。(M・Kさん)
 - 12月であったのが、海で食べたいのが印象深かった。(R・Mさん)
- 琉球通り**
 - 特長生していたが、他のみんなが手
- 首里城**
 - 壁やキーホルダーを作ったのが楽しかった。(Y・Yくん)
 - みんなでステーキを食べた。(Y・Sくん)
- 平和祈念堂 (ひめゆりの館)**
 - ひめゆりの館にいた地元の人や優しく声をかけてくれた。また、ガイドさんが笑顔で紹介していた。この地元の人がガイドさんとはとても丁寧
- 修学旅行**
 - 修学旅行であるのに、という感じで印象深かった。(T・Uくん)
 - アメリカの影響を止めていた北の生活があった場所だということが印象深かった。
 - 琉球の写真などで、大きな船にのったのと比べて印象深かった。(T・Sくん)

グローバルキャンポ

今年度も、本校舎の一学年次を対象として、J・C・Cヘググローバルキャンポが行われまし

十二月六日(水)〜八日(金)の二泊三日の日程で、いわき市四倉の海浜自然の家にて様々なことを学習しました。今回も、その一部をご紹介します。

シリア難民キャンプでの青年海外協力隊活動
紛争が続くシリアから逃れてきた難民の暮らしを学ぶため、青年海外協力隊がどのような活動をしているかを学びました。シリアの風俗や文化、人々の様子を紹介したのち、紛争の実態について、教えて頂きました。



進路活動を振り返って

進路活動を振り返って

3年2組 遠藤 純太

(福島大学 経済学部に入学予定)

福島原子力発電所の事故が発生し、放射能の影響により約1年間の避難経験をしました。その経験や、高校での学びから、将来は親類の復興に関わってみたいと思いました。そこで、地域との関わりが多く、エネルギーについて学ぶことができる福島大学を志望しました。福島大学のAO入試は、筆記の総合問題とポスターのプレゼンがありました。ポスターは、未来創造探究の活動を活用して、約10枚もの手紙しを綴って完成させ、数えきれないほどのプレゼンの練習を徹しました。総合問題対策は、過去問や授業で使用する問題集を繰り返し解きました。大切なのは、あきらめないことです。後輩の皆さんも、頑張ってください。

進路活動を振り返って

3年2組 高野 純真(福島大学 経済学部)

就職活動を始めてから内定をもらえるまで、本当に甲かたった気がします。その間、私はたくさんことを学びましたが、特に大切だと思ったことが2つあります。1つ目は、3年間で一つでも自分が頑張ったことを作ることです。私の場合、それは部活動でしたが、面接などでとても役に立ちました。2つ目は、面接練習を数多くこなすことです。面接の質問内容は毎回違うので、練習の数だけ自分の自信につながります。就職試験は緊張すると思いますが、自分が取り組んできたことを思い出し、落ち着いて対応すれば大丈夫だと思います。

進路活動を振り返って

3年A組(三島を門校舎) 加藤 聖子

(中央大学 経済学部 経済学科 合格)

私たち三島長岡校舎では、5月から進路活動を始めました。志望大学のサッカー部やクラブチームの練習会に行き、自分の力を積極的にアピールしました。6月からは募集要項を取り寄せ、AO入試やスポーツ推薦など、どの入試形態が自分に適しているか考え、受験勉強に取り組みました。入試では、小論文・面接・実技というタイプが多く、小論文は4月から論議表現の授業で、面接は9月から放課後に練習しました。大学、プロ、スペイン留学など進路はそれぞれ分かれていますが、2月から新天地での活動が開始となるので、とても楽しみです。

進路活動を振り返って

3年B組(福島大校舎) 倉塚 希琴

(立教大学 文学部 教育学科 合格)

私が進路希望を決定したのは2年次の3月頃です。私の将来の夢は教員になることなので、大学では教育について学びたいと考えました。また、高校まで続けたバドミントンにも力を入れていきたいとも考えました。総合的に判断した結果、学習面もバドミントンも充実している立教大学を受験することになりました。進路決定にあたっては、自分の学びたいことだけでなく、他に獲得できるスキルや関活動などをあわせて考えたと決めるやすく、また受験対策にも力が入るのではないかと思います。いろいろと御指導して下さいました。ありがとうございます。

タイムスケジュール

(2年次までの準備)

志望校・希望職種の検討
学校・企業見学会への参加

(4~6月)

進路 志望校・受験方式の決定
就職 企業研究・受験対策

(夏季休業期間)

進学 AO・推薦・志望理由書の作成
就職 一般・実力養成

就職 職場見学・応募先の決定

(9~12月)

進学 AO入試(9月)
推薦入試(10月)
センター試験出願

就職 就職試験

(冬季休業期間)

進学 課外
就職 資格取得・マナー講習

(1~3月)

進学 一般入試/内定者課題
就職 就職準備(内定者課題)

進路概況(2月10日現在)

(進 学)

※延べ人数

国立公立大学 6名
私立大学 55名
短期大学 9名
専修学校 39名

主な合格先

筑波大学、福島県立医科大学、福島大学、茨城大学、青山学院大学、立教大学、明治大学、中央大学、法政大学、日本大学、専修大学、津田塾大学、文教大学、神奈川大学、龍谷大学、立命館大学、東北学院大学、石巻専修大学、いわき明星大学、東日本国際大学、茨城キリスト教大学、山形県立米沢女子短期大学、いわき短期大学、鶴城共立高等看護学院、福島県農業総合センター農業短期大学校

(就 職)

※実人数

民間企業 27名
公務員 3名
その他 2名

主な就職先

イオンリテール、ゲームいわきベース、東京電力、富士フイルムフラインケミカルズ、NITT東日本、ヨネックス、陸上自衛隊、陸上自衛隊、マイナビベガルタ仙台レディース、コノミヤ・スペランツァ大阪高橋

FOCUS ふたば未来 第 5 回

職員紹介

Q&A

1. 活動費の負担
2. 活動費の負担
3. 活動費の負担

「現在の仕事でなければ、どのような仕事に就いていたかと思えますか？」

十月以降に、新たに二名の先生方が着任されました。前号と同様に、ご紹介したいと思います。



同窓会・生徒会

同窓会発足の告知

今年度の三学年次が卒業するとともに、本校初の同窓会が発足する運びとなりました。同窓生として、引き続きご子息が学校を支えていただければ幸いです。

生徒会誌および図書情報発行のお知らせ

今年度から、三月一日に本紙とあわせて、生徒会誌と図書情報発行します。ぜひお手にとってみてください。



食堂

生徒たちの学校生活を華から支えている食堂は、A棟二階にあります。衛生は自費で確保し、その他の生食も四百円程度で提供します。ランチはAとBの二種類から選ぶことができ、そのメニューも毎日変わります。また、時給五十円を追加することで、プリンやケーキなどのスイーツを付け足すこともできます。栄養バランスも考えられ、味もおいしいので、昼食時には生徒たちが勢いよく押し寄せてきます。けれども、受け取る際には順番を待つ並んでいます。ちなみに、この食堂のレイアウトは、二年前に一期間が参加した「JICAグローバルキャンパス」内で、一生徒が利用しやすいようにと改善案を生徒が提示し、それが形になったものです。現在、このアイデアのおかげで、三学年あわせて三百人ほどの規模となった本校でも昼食時に大きな混乱もなく利用できています。



P.T.A 活動報告

保護者と教師の会 会長あいさつ



保護者と教師の会 会長 根本みゆき

華やかな開校を迎えてから、早いもので三年が経ちました。振り返ると長かったような、あつという感じだったような気がします。

桜の花がころび始めたばかりの日に思いが降り、早くも二回生の入学式を迎え、子ども達の様々な分での活躍により、ふたば未来学園高等学校の名前が高まりました。そして、ふたば未来の生徒達の姿が、双葉朝の希望の光を与えていきました。さらに、明るく元気な姿、大きな笑い声や掛け声、いついっいの職員電音など、開校前には想像できなかった光景が、今や日常となつていきました。

ふたば未来の生徒たちは、多くの方々の力を借りて支えられてきたからこそ、踏進できたと思います。在校生はもちろん、今後入学してこる子ども達へも、その歩みをしっかりと受け継ぎ、伝統ある学校へと継承を紡いでいってほしいと思います。

また、保護者や教職員の方々の大きな支えと努力に感謝を申し上げ、今後も多大なる御協力と御指導をお願いしたいと思います。

三年間を振り返って

※進路対策委員会

進路対策委員長 新妻 直実

私は三年間進路対策委員として活動してきました。一年目、相双地区高P連専門委員会に出陣し、進路に向けた大切なことは保護者の意識を高く持つこと、そのために研修が必要であるという話を聞き、大気を感じました。二年目より、大学、専門学校や就職研修や講演会を企画、実施し、先生方や参加された保護者同士の情報交換をする機会にもなり、とても有意義な時間となりました。今後、もっと多くの保護者の方が、進路に向けて早期から両心をもち、積極的に情報研修や講演会に参加してほしいと思います。

※健全育成委員会

健全育成委員長 大和田成美

地域の方々や広野駐在所の方の御支援を頂きながら、先まや生徒、保護者数多くの委員会は始まりました。通学時の挨拶運動、八月の校外補習などを行って来て、あつという間の三年間でした。この三年間で生徒数も増え

保護者の方々も多くなり、健全育成としての活動の進捗も出てきました。まだまだ手探り状態での活動となつており、皆様の御協力を頂きながら委員活動はあります。これからは今までの以上に協力し合いながら取り組んでいきたいと思っております。皆様の参加をお待ちしております。

※調査広報委員会

調査広報委員長 出雲 三和

「類」という広報紙のタイトルを私はとても気に入っています。生徒の皆さんへ「愛へ高く翔ぶように」との言葉を贈り、開校式で東京大の宮長様が書いてくださったこの文字を、タイトルにして一冊発行したのは私です。私の思いに賛同してくださった広報の連絡先、伊藤さん、本間に三年間ありがとうございました。サボートしていただいた先生方にも広報の活動を通して感謝を申し上げます。

楽しく読んでいただけたら幸いです。オンラインの広報紙を目指してまいります。本出にありがとごさいます。

「ライティングスクール」にて多機能プリン導入について

三月一日より、本校の駐進連絡用メールアドレスは「ライティングスクール」に移行します。旧サービスからは自動的に印刷されますので、お早めにお知らせメールへの登録をお願いします。

登録のしかた

1. Printingschool@stg.ac.jp に登録メールを送信してください。
2. 送られたメールに記載されたURLからアクセスしてください。
3. 登録画面が表示されますので、生徒の氏名を入力し、該当する学年年度にチェックを入れ、「登録」ボタンを押してください。
4. 本登録完了メールが受信できれば、登録完了です。

進捗メールフィルタを設定していると受信ができません。事前にドメインからのメールアドレスを許可するよう、設定変更をお願いします。

※この連絡網は株式会社ライティングスクールによるもので、上記目録以外では使用しません。また、メールアドレス以外での個人情報は一切必要ありません。

伝言板

皆さんの協力あつての広報活動だったと思います。三年間、ありがとうございました。